

巖木中学校 学校便り

新 生徒会長
長谷川 悠斗さん

令和4年1月14日



巖木中教育目標

「主体的、協働的に取り組む生徒の育成」

文責:校長 古舘洋治

1 第3学期 始業式 1月11日(火)

令和四年 新年あけまして

おめでとうございます。

みんな元気に登校してくれたことを嬉しく思います。令和二・三年は、「新型コロナウイルス」が大流行し、今は第6波が始まったようです。オミクロン株は、重症化は少ないものの感染力はかなり強いとのこと。現在、佐賀県でも感染者数が増加しています。今まで以上に、十分に気をつける必要があります。

- ①「発熱」「せき」の症状がある人は、病院で受診。無理して登校しない。
- ②毎朝の検温を忘れずに行う。
- ③手洗い・手消毒を小まめに行う。
- ④マスクは基本的に着用して、必要に応じて外す。



学校でも家庭でも、常に心がけましょう。感染者が出たりすると行事などの自粛も…油断することなく注意してほしいと思います。特に3年生は、受験が始まっています。感染しないよう特に注意してほしいと思います。ご家族のご協力もよろしくお祈りします。

さて、「一年の計は、元旦にあり」と言いますが、令和四年のスタートにあたって、みなさんは何を決意しましたか。3年生は、「志望校に合格」「〇〇高校で…」でしょうし、1・2年生は、「勉強や部活動の目標」を設定した人も多いことでしょう。

「初心忘るべからず」世阿弥(能楽者)の言葉です。初心を忘れてはならないということですね。肝心なのは、「それを実行、そのための努力ができるか」です。

「高い目標を完遂する過程を通じて人間は成長する」という言葉があります。目標に向かって最大限の努力をしてください。できた・できないではなく、達成に向けての過程が大切です。そこに成長があります。

厳しい寒さが続いています。この寒さがないといけないうものがあります。それは、春になると華やかに花を咲かせるチューリップです。チューリップは、球根を秋から冬にかけて植え込みます。厳しい冬の寒さを経験しないと、あの見事な花は咲かないそうです。時期を考えて、わざと冷蔵庫で寒さを経験させることも…。寒いからといって覆いを掛けたり、暖かな部屋に置くと、葉は茂りますが、立派な花は咲かないそうです。



もう一つ…お花の話で…

タンポポはとても生命力が強い植物です。どんなにかんかん照りでも、どんなに人に踏まれても決して枯れたりしません。とても我慢強い植物です。その秘密は、根っこにあります。草丈が14cmほどで、根の長さが50cm~なかには1mにもなるタンポポもあるそうです。このタンポポの根を掘るのにとっても苦労します。根が地中深く伸びていて、何回も途中で切れてなかなか掘り出せません。タンポポはどんなにつらい状況になろうともじっと我慢して花を咲かせます。それはこのようにしっかり地下深く根を張っているからです。



この二つの花と人間の成長も同じことが言えるのではないかと考えています。

社会の中で、成功を収めた人や立派な業績を残した人は、ほとんど例外なく、多くの課題や苦境を乗り越えています。辛くても努力を重ねたり、いろんな困難を乗り越えたりして、人として成長を遂げ、成功しています。

時には厳しい状況が、たくましく育ててくれる。自分に厳しくあってほしいと思います。

昨年度の学校だよりでも紹介しました。「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ！やがて大きな花が咲く！」この言葉は、シドニーオリンピックで金メダルを獲った高橋尚子選手の座右の銘です。よい結果を出せずに大変苦しんでいた時に、陸上部監督から贈られた言葉です。

3年生の中には、入試に向けて努力しているにもかかわらず、なかなか結果が出ずに焦ったり、心配になったりしている人もいるかもしれません。1・2年生も勉強や部活動など何かにつけ、そんな時があると思います。そんな時は、この言葉を思い出し、大きな花を咲かせるために、下へ下へと大きな根を伸ばし続けてください。それが自信へとつながります。入試とか試合では誰も助けてくれません。自分で考えて実行する力が問われます。

しかし、いじめとか嫌な思いを我慢することはありません。「いじめのない学校」にしたいです。そのために何をしたらいいかは、先生たちも考えます。生徒会のみなさんも、生徒のみなさんも「どうすればよいか」一緒に考えましょう。そして、「やりたいことを頑張れる、頑張っている人を応援できる巖木中学校」にしていきたいです。

今年一年、悔いを残さないよう、自分のために、自分に厳しく、自分を育てましょう。



2 生徒会専門部認証式 1月11日

始業式の後に生徒会専門部の認証式がありました。生徒会長の長谷川悠斗さんから一人ずつ認証書が手渡されました。その後、専門部のメンバーが一人ずつ意気込みを語りました。この1年間、これまでの先輩たちが創り上げた伝統を引き継ぎ、さらに新しい伝統をつくりあげてほしいと思います。苦労することも多々あると思いますが、みんなで力を合わせて乗り越えましょう。下表は生徒会専門部の部長・副部長・書記のメンバーです。

	部長	副部長	書記
学芸部	秀島 凜さん	森 夢奈さん	家原彩嘉さん
生活保体部	元浦琉斗さん	竹林穂乃歌さん	山口陽花さん
給食部	浅山琥珀さん	井上 梓さん	川原彩生さん
整美部	西村心采妃さん	戸村拓夢さん	山田智優さん
図書部	小松祐月さん	岡 美咲さん	白水李采さん

新型コロナウイルス・季節性インフルエンザに気を付けましょう!

冬には、季節性インフルエンザなど、発熱や咳を起こす感染症が流行しやすくなります。こうした感染症と新型コロナウイルス感染症の症状は非常に似ています。「筋肉痛もあるからインフルエンザだ!コロナではない!」など自己判断せず、症状が出たら身近な医療機関に相談・受診をしましょう。

【新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの違い】

	新型コロナウイルス感染症	季節性インフルエンザ
症状の有無	発熱に加えて、味覚障害・嗅覚障害を伴うことがある	ワクチン接種の有無などにより程度の差があるものの、しばしば高熱を呈する
潜伏期間	1~14日(平均5.6日)	1~2日
無症状感染	数%~60% 無症状患者でも、ウイルス量は多く、感染力が強い	10% 無症状患者では、ウイルス量は少ない
ウイルス排出期間	感染力があるウイルス排出期間は10日以内	5~10日(多くは5~6日)
ウイルス排出のピーク	発症日	発症後2、3日

(日本感染症学会提言「今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて」(2020.8.3)より一部引用)

感染対策を徹底しよう!

身体的距離の確保

換気やマスク着用と併せて実施することで「3密」を避けよう



咳エチケットの徹底

基本的にマスクをつけよう



手洗いの徹底

- ・流水と石けんで丁寧に
- ・手洗いの時間は30秒程度
- ・ハンカチ等は自分のものを使う



換気の実施

- ・可能な限り常時、対角線上にある2つの窓をあける
- ・難しい場合は、
 - * 30分に1回以上
 - * 数分間程度
 - * 窓を全開



抵抗力を高める

- 体の抵抗力を高めるためには、
- ・十分な睡眠
 - ・適度な運動
 - ・バランスの取れた食事などを心がけよう

